

令和6年4月16日(火)

報道関係者各位

NHKから国民を守る党
党首 立花孝志

衆議院議員補欠選挙（東京15区）を迎えるにあたって（党首談話）

NHKから国民を守る党は今国会の予算案に野党の中で唯一賛成しました。第二次世界大戦後、我が国が一貫して平和国家としての道を歩み続けられたのは、長らく政権として日本を支えてきた自民党の政治による影響が大きな要因の一つである事は疑いようのない事実であり、現在においても自民党の政治力は他党と比較しても代えがたいものがあると評価できます。しかしながら、NHK問題と政治資金問題においてはその評価は覆ります。

昨年の11月の大学教授の告発を発端とした自民党派閥の政治資金問題は現在開会中の国会において大きな話題の一つです。今年4月11日に衆議院で設置された政治改革特別委員会において岸田総理は政治資金規正法の改正を今国会で実現するとしました。政治資金規正法は議員立法であり、政治家は自らの政治資金に関する法律を自らの都合の良いように立法しています。ロッキード事件、リクルート事件など、これまでに「政治とカネ」の問題は度々話題となり、その都度政治資金規正法は改正されましたが、未だ根本的な解決が見られないのは、政治そのものに関心を示さない国民が多く、政治の問題は他所事であると捉えられているためではないでしょうか。

我々NHKから国民を守る党は急遽、此度の衆議院議員補欠選挙（東京15区）に参戦いたしました。東京都知事選の前哨戦とも言われ話題を集める東京15区は、2代続けて自民党の現職が東京地検特捜部に起訴されたという異例の事態により、まさに混沌としています。NHKから国民を守る党はこの東京15区の補選をはじめとして、この政治資金問題に風穴を空けます。政治家の特権がそこにあるのなら、国民もその特権を使えば良いのです。政治に不信を抱いている皆様、自民党を長らく支持してきたために補選での投票先に迷われている皆様、これ以上増税してほしくない、国民負担を少しでも下げたいとお考えの皆様や、政治に全く関心のない皆様に向けて、合法的な節税スキームを提案し、政治資金問題に対して皮肉的な啓発を促し、多くの国民の関心が向く仕掛けを戦略的に行います。是非とも、NHKから国民を守る党の活動にご注目ください。何卒よろしくお願い申し上げます。

以上